



# University Guide 2023

—— 採用ご担当者様へ ——

## 大学の沿革

筑波大学は、東京教育大学の移転を契機に、そのよき伝統と特色を生かしながらも、大学に対する内外からのいろいろな要請にこたえるため、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973年(昭和48年)10月に「開かれた大学」「教育と研究の新しい仕組み」「新しい大学自治」を特色とした総合大学として発足しました。本学は大学改革の先導的役割を果たしつつ、教育研究の高度化、大学の個性化、大学運営の活性化など、活力に富み、国際競争力のある大学づくりを推進しています。

## IMAGINE THE FUTURE.

筑波大学は未来を構想し、その実現に挑むフロントランナーです。筑波大学は開かれた大学、学際融合・国際化への挑戦を建学の理念とする、未来構想大学と自らを位置づけます。文系・理系から体育、芸術に及ぶ学問を探究し、グローバル・リーダーの育成を目指す、真の意味での総合大学=Universityです。最先端研究拠点 TSUKUBA の中核として、人類が共存共栄する世界の実現に向かって行動します。

## ヒューマンエンパワーメント推進局 (BHE) とは

ヒューマンエンパワーメント推進局 (BHE) は、学生と職員のひとりひとりがお互いを尊重し、それぞれの能力を最大限に発揮できる大学を目指して、2023年1月に設立されました。

本学に関わるすべての人の権利、可能性、多様性を尊重し、個々の能力が最大限に発揮される環境を整えます。また、この活動を通して、大学におけるエンパワーメントの文化を醸成します。

## 国際交流

筑波大学は110を超える国・地域から留学生を受け入れています。2023年5月時点では、2,000名を超える留学生を受け入れています。英語による授業科目のみで学位が取得できる、魅力ある学位プログラムを提供する一方、日本での学修研究活動、日常生活、就職など、さまざまなレベル、技能、目的に合わせたきめ細かな日本語教育も行っています。また、海外の多くの大学・研究機関と学生交流協定を締結しており、これに基づいた交換留学も盛んです。

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局

<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>



# 学群・学類（学士課程）

学群は、専門領域を中心としていくつかの学問分野を総合した形で構成され、学生は学群に所属します。体育・芸術には、一貫教育を行う専門学群を設置しています。

## 人文・文化学群

人文・文化学群は、基礎的な分野の教育を担う人文学類、学際的視点を重視した教育を行う比較文化学類、国際社会の中で日本語及び日本文化の発信を目指す日本語・日本文化学類という、各々独自の特色を持つ3つの学類から構成され、人文系及び文化系の教育の総合的な発展を目指す、他大学にはないユニークな教育組織です。人文系と文化系の学問の豊かな知見と確かな成果を基に、更にはグローバル化する世界も視野に入れながら、多様で質の高い教育を実現し、優れたコミュニケーション能力を持ち、先見性・創造性・独創性に富み、国際的にも活躍できる、卓越した人材を育成することを目標にしています。

▶学類：人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類

## 社会・国際学群

社会・国際学群は、社会科学分野の総合的な専門教育を担う社会学類と、社会科学を中心に発展的・応用的な学融合教育を担う国際総合学類から構成されます。社会学類では、社会学・法学・政治学・経済学の一つを重点的に学習しつつ、関連領域を自由に選択することで、専門性を磨き、総合的な視野を養います。国際総合学類では、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発に加え、情報・環境学についても学び、英語によるコミュニケーション能力及び高度な情報処理能力を備えた国際人育成のための教育を行います。

▶学類：社会学類、国際総合学類

## 人間学群

人間学群の教育の特徴は、構成する3つの学類間の垣根をできるだけ低くしていることです。具体的には、学群共通科目(コアカリキュラム)を充実させ、3学類の基幹授業(教育学・心理学・障害科学)を全ての学群生が履修できるようにしています。さらに、所属学類以外の2学類の専門についても学習できるよう、学類間での授業履修への理解が図られています。また、タイ国での日本語教育実習など、国際的な視点を实地に学べるのも特色の一つといえるでしょう。

▶学類：教育学類、心理学類、障害科学類

## 生命環境学群

生命環境学群は、今世紀に入り社会的にも大きな注目を集めている「生命と環境」を共通キーワードとする生物学類・生物資源学類・地球学類の3学類から構成されており、組織構成員、教育研究分野とも大学院(生命地球科学研究群)ともほぼ同一です。本学群の教育目標は、問題発見・解決型能力を身につけ豊かな人間性を育くむことにより、わが国の生命環境科学分野の中心的な担い手となる人材、国際的視野に立って活躍できる未来創造型の人材を育成することです。

▶学類：生物学類、生物資源学類、地球学類

## 理工学群

理工学群は、理学と工学の主幹となる学問分野とともに学際的な分野も取り入れ、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類の6学類を置いています。理学と工学の領域において、持続可能な社会に必要なとされる幅広い教養、理論的かつ柔軟な思考力、実践的技能、基礎から応用に至る確かな専門性を身に付けさせる教育を目指します。また、知的創造、問題発見・解決の能力を有する広い視野と豊かな人間性をもつ人材の育成を指向します。

▶学類：数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類、総合理工学位プログラム

## 情報学群

今後の情報化社会において、技術立国を標榜する我が国の情報基盤を支える優れた人材の育成は重要な課題です。情報学群では情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類の3学類を置き、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動に関わる様々な情報技術とその原理となる科学とともに、情報技術によって支えられる人間の知的活動とその社会的・文化的基盤を十分に教育し、21世紀の情報社会の創造を担う人材を育成します。

▶学類：情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類

## 医学群

医学類、看護学類、医療科学類の3学類があります。何れの学類でも医療職を目指して、それぞれの国家資格(医師、看護師、各種の医療検査技師など)を取得すべく勉学に励みます。これまで高い合格率を誇っています。医療や医学研究にあっては考え方が日々変化し、知識量も急激に増大しています。「自分で問題を考え、解決する」力と方法を習得して、医療現場で適切に諸問題を解決する能力を養うことを目標にしています。

▶学類：医学類、看護学類、医療科学類

## 体育専門学群

体育専門学群では、体育・スポーツ・健康に関する最新の科学的研究成果を活かしながら、指導者の養成を目指しています。指導者には優れた運動能力と幅広い運動経験をもち、かつ保健体育に関する総合的知識を備えた、指導力と活力に富む豊かな人間性が求められます。そのため、本学群の教育課程では、学生が各種運動の実技と方法論を基礎にしながら、39ある卒業研究領域の中から特徴的に配列された教育課程を選ぶことができるようになっています。さらには、大学院との関連も考慮し、その運用には格別の配慮が払われています。

▶主専攻：体育・スポーツ学、コーチング学、健康体力学

## 芸術専門学群

芸術専門学群は、毎年2月に茨城県つくば美術館でその年度の卒業生全員による卒業制作展を開催します。広い視野と確かな基礎学力を持ち、柔軟な発想力と表現力を備えた美術・デザインに関する専門家の育成という本学群の教育目標は、それぞれの学生の4年間の学習成果となって卒業制作展に結実します。本学群では卒業研究として、芸術学には論文を、美術・構成・デザインには作品と論文を課しており、その成果は更に14のコース・領域に分けられるという多種多様な様相を呈しています。優秀作品等は筑波大学芸術賞や若菜賞として顕彰され、一部が大学に収蔵されます。卒業生は、美術・デザイン界で活躍する多くの同窓と同様に世界に向けて飛躍することが期待されます。

▶主専攻：芸術学、美術、構成、デザイン

# 筑波大学データ (就職関連)

## 在籍者数 (令和5年6月1日現在)

学群3年次在籍者数				
学群・学類	在籍者数(人)			
人文・文化学群	人文学類	118	(50)	<2>
	比較文化学類	84	(55)	<2>
	日本語・日本文化学類	27	(18)	<1>
社会・国際学群	社会学類	88	(29)	<3>
	国際総合学類	85	(50)	<2>
人間学群	教育学類	37	(14)	<1>
	心理学類	54	(39)	<3>
	障害科学類	37	(28)	<0>
生命環境学群	生物学類	82	(34)	<3>
	生物資源学類	133	(63)	<6>
	地球学類	53	(15)	<2>
理工学群	数学類	41	(2)	<0>
	物理学類	63	(12)	<0>
	化学類	57	(17)	<2>
	応用理工学類	132	(18)	<0>
	工学システム学類	140	(11)	<2>
	社会学類	133	(33)	<3>
	総合理工学学位プログラム	7	(2)	<6>
情報学群	情報科学類	96	(10)	<2>
	情報メディア創成学類	65	(4)	<1>
	知識情報・図書館学類	121	(60)	<3>
医学群	医学類	139	(50)	<1>
	看護学類	80	(75)	<3>
	医療科学類	40	(30)	<1>
体育専門学群	255	(71)	<1>	
芸術専門学群	105	(79)	<2>	
グローバル教育院 (地球規模課題学位プログラム)	3	(1)	<1>	
総合学域群	第1類	1	(1)	<0>
	第2類	0	(0)	<0>
	第3類	1	(0)	<0>
合計	2,277	(871)	<53>	

## 出身都道府県別Uターン状況 (令和5年3月卒業・修了生)

出身地	当該地出身卒業者数(人)	就職者数(人)	出身地への就職者数(人)	Uターン率(%)
北海道	52/28	30/16	3/1	5.8/3.6
青森県	22/14	13/8	1/1	4.5/7.1
岩手県	19/13	13/10	1/1	5.3/7.7
宮城県	29/12	17/12	2/0	6.9/0.0
秋田県	17/15	4/12	2/1	11.8/6.7
山形県	15/10	4/8	1/1	6.7/10.0
福島県	36/25	14/18	3/1	8.3/4.0
茨城県	285/183	125/148	45/30	15.8/16.4
栃木県	48/37	20/31	6/5	12.5/13.5
群馬県	73/51	25/37	7/3	9.6/5.9
埼玉県	154/81	60/59	14/4	9.1/4.9
千葉県	166/88	65/74	6/8	3.6/9.1
東京都	282/201	96/126	68/79	24.1/39.3
神奈川県	90/78	32/48	9/5	10.0/6.4
新潟県	35/28	15/27	6/2	17.1/7.1
富山県	30/17	16/13	1/3	3.3/17.6
石川県	12/12	7/8	2/0	16.7/0.0
福井県	15/7	5/5	2/1	13.3/14.3
山梨県	14/11	6/6	1/0	7.1/0.0
長野県	47/36	25/25	5/5	10.6/13.9
岐阜県	28/21	14/17	3/1	10.7/4.8
静岡県	64/50	23/34	4/11	6.3/22.0
愛知県	95/33	43/25	15/7	15.8/21.2
三重県	27/18	9/14	0/0	0.0/0.0
滋賀県	9/12	4/8	0/0	0.0/0.0
京都府	26/16	13/10	0/3	0.0/18.8
大阪府	53/31	19/19	5/3	9.4/9.7
兵庫県	54/32	24/20	2/1	3.7/3.1
奈良県	9/12	2/11	1/0	11.1/0.0
和歌山県	7/8	3/8	0/0	0.0/0.0
鳥取県	12/3	5/2	0/0	0.0/0.0
島根県	6/7	2/7	0/1	0.0/14.3
岡山県	21/14	8/8	1/1	4.8/7.1
広島県	28/19	9/14	2/2	7.1/10.5
山口県	15/21	9/16	2/1	13.3/4.8
徳島県	16/1	6/1	1/0	6.3/0.0
香川県	10/13	5/10	0/2	0.0/15.4
愛媛県	27/13	13/12	4/0	14.8/0.0
高知県	6/3	3/3	0/0	0.0/0.0
福岡県	54/28	27/24	4/2	7.4/7.1
佐賀県	12/6	6/4	1/0	8.3/0.0
長崎県	12/15	5/9	0/2	0.0/13.3
熊本県	17/9	8/8	1/1	5.9/11.1
大分県	14/8	6/5	1/2	7.1/25.0
宮崎県	22/11	11/6	1/1	4.5/9.1
鹿児島県	19/13	10/10	2/0	10.5/0.0
沖縄県	14/4	1/2	0/1	0.0/25.0
海外	66/421	8/121	0/30	0.0/7.1
合計	2184/1789	888/1119	235/223	10.8/12.5

## 修士課程・博士課程(前期)1年次在籍者数

研究群・専攻	在籍者数(人)		
人文社会科学研究群	148	(80)	<79>
ビジネス科学研究群	59	(16)	<0>
数理物質科学研究群	281	(46)	<35>
システム情報工学研究群	510	(75)	<94>
生命地球科学研究群	349	(150)	<99>
国際連携持続環境科学専攻	8	(4)	<5>
人間総合科学研究群	600	(329)	<112>
スポーツ国際開発学共同専攻	5	(3)	<0>
国際連携食料健康科学専攻	13	(9)	<8>
合計	1,973	712	432

## 専門職学位課程1年次在籍者数

研究科	在籍者数(人)		
ビジネス科学研究科(法曹専攻)	25	(14)	<0>
ビジネス科学研究科(国際経営プロフェッショナル専攻)	33	(13)	<6>
合計	58	(27)	<6>

## 一貫制博士課程4年次・博士課程(後期)2年次在籍者数

研究科	在籍者数(人)		
人文社会科学研究群	48	(29)	<23>
ビジネス科学研究群	20	(6)	<0>
数理物質科学研究群	68	(12)	<31>
システム情報工学研究群	94	(25)	<42>
生命地球科学研究群	98	(47)	<55>
人間総合科学研究群	216	(91)	<63>
大学体育スポーツ高度化共同専攻	4	(2)	<0>
グローバル教育院	11	(3)	<7>
合計	559	215	221

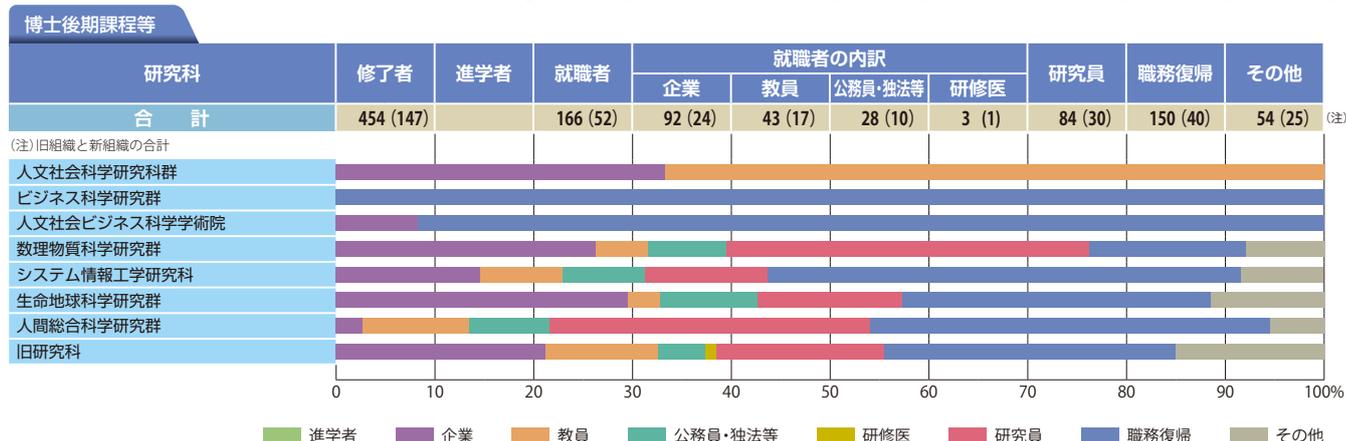
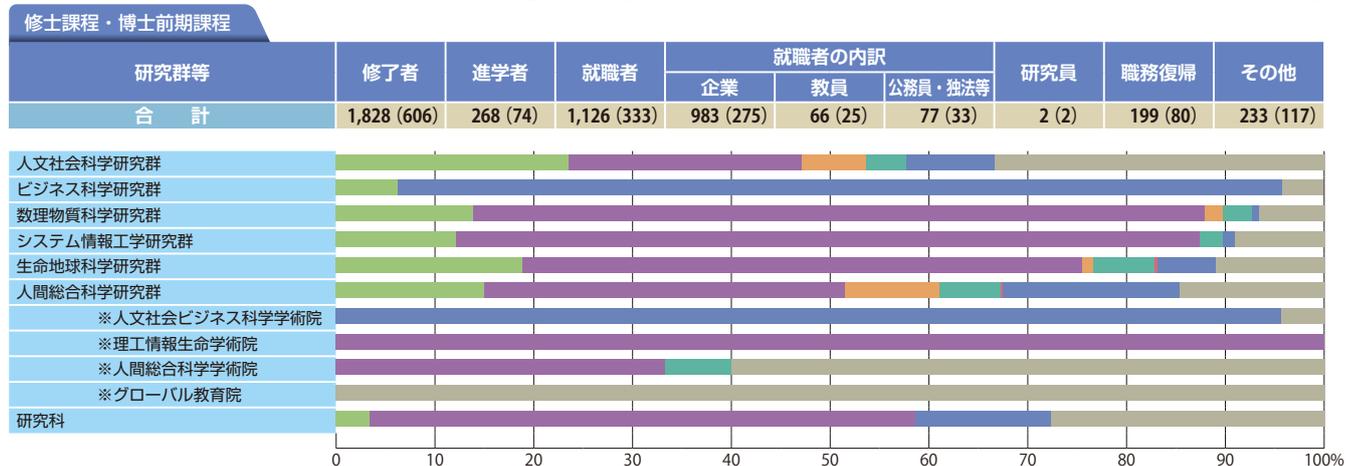
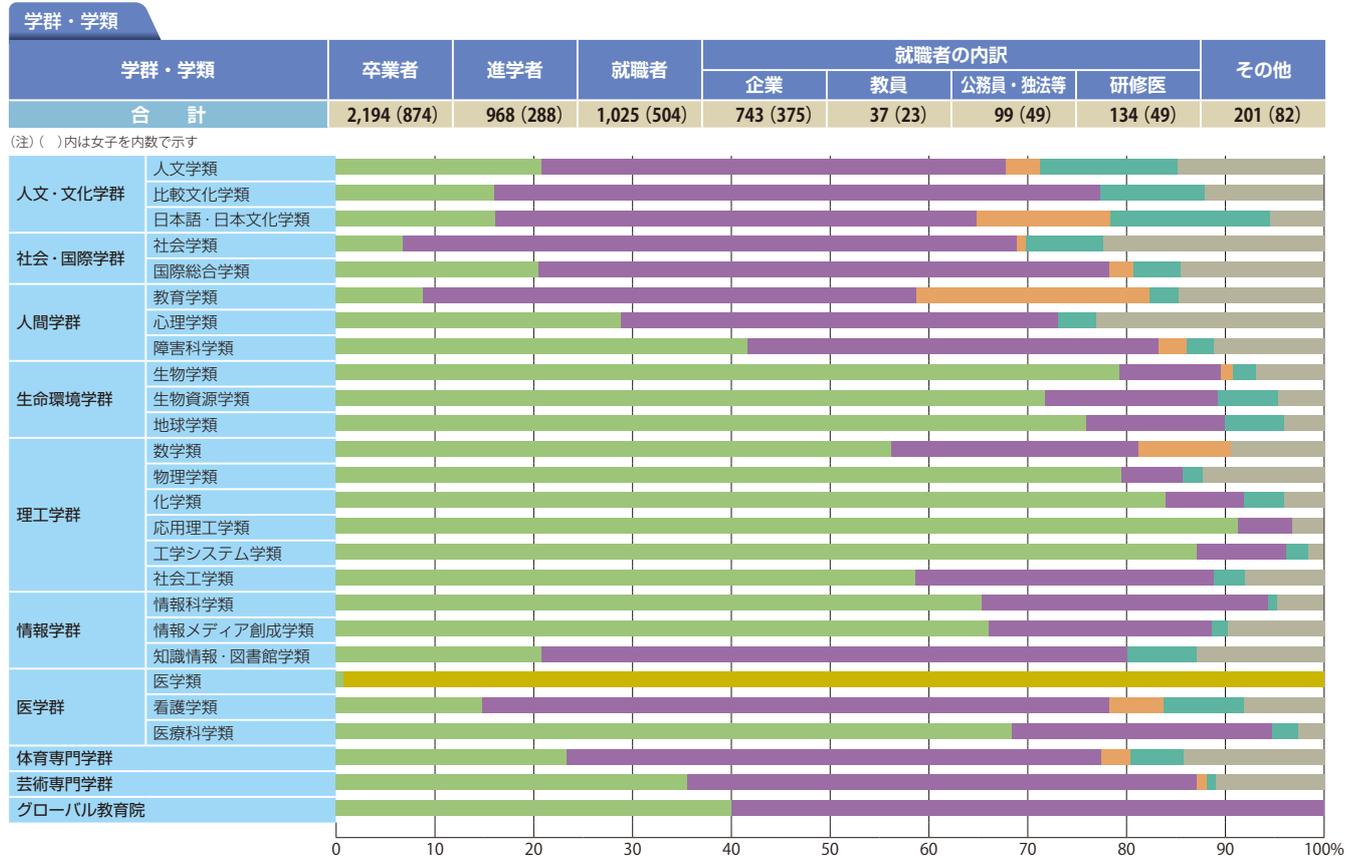
※( )内は女子を内数で、< >内は外国人留学生を内数で示す。

注1 6年生課程のため、5年次在籍者数を計上。

注2 3年制課程のため、2年次在籍者数を計上。

注3 医学を履修する課程は3年次在籍者数を計上。

# 令和4年度卒業・修了予定者の進路状況 (令和5年5月1日現在)



進学者 企業 教員 公務員・独法等 研修医 研究員 職務復帰 その他

# 筑波大学におけるキャリア・就職支援の取り組みについて

筑波大学では、ヒューマンエンパワーメント推進局が全学的な学生へのキャリア・就職支援を積極的に展開しています。

例えば、初年次ファーストイヤー・セミナーへの出張講義やキャリアデザインに関する授業の開講、各種就職ガイダンスやワークショップの開催、通年実施の個別相談など様々なプログラムを通じて、学生が自ら考え、社会について視野を広げながら、将来に向けて具体的な準備を進めていけるよう支援しています。

また、学群・大学院における各教育組織とも密な連携を図るために、学内に延べ80名以上のキャリア支援担当教員を配置し、よりきめ細かな学生へのキャリア・就職支援を目指しています。

さらに、多様な学生への支援として、以下のような取り組みもこれまで以上に積極的に行っています。

## 1) 博士人材

研究大学である本学では、専門分野の知識や経験にとどまらず、広い視野で物事を考えることができる人間力育成のための総合知教育を推進し、アカデミアだけではなく産業界でも幅広く活躍できる人材の育成に力を入れています。キャリア・就職支援としては、博士人材と企業が交流できる場の提供や研究型インターンシップへの参加促進、研究力向上に関するイベントの企画などを行っています。さらに、在学時から参加できる女性リーダーや研究者育成のための支援プログラムも実施しています。



## 2) 外国人留学生

本学では現在2,399名(2023年5月時点)の外国人留学生が学んでいます。日本での就職を希望する学生も多く、外国人留学生へのキャリア・就職支援の充実に積極的に取り組んでいます。ヒューマンエンパワーメント推進局では、外国人留学生を対象とした各種就職ガイダンスの企画立案をはじめ個別相談も実施しています。

## 3) 障害のある学生

本学では障害のある学生に対して、保健管理センター(精神科)及び学生相談室とも連携し、それぞれの役割を担いながら、大学全体としての支援に取り組んでいます。キャリア・就職支援では、個別対応を中心に、インターンシップへの参加促進や就職に関する情報提供、企業との交流の場の設定、障害のあるOBOGネットワークの活用などを通して、学生が自己理解を深め、自信をもって自らの進路選択ができるような支援を行っています。

## 4) LGBTQ等の学生

本学では「LGBT+等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」を定める等、LGBTQ等のセクシュアル・マイノリティに関する先進的な取組を進め、LGBTQ等の学生からのキャリア・就職に関する個別相談の体制も整備しています。

# QUALITY × FUTURE

卒業生と内定者のインタビュー集

[https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/?page\\_id=11729](https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/?page_id=11729)



# 令和6年度大学、短期大学及び高等専門学校 卒業・修了予定者に係る就職について（一部抜粋）

就職問題懇談会は、学生が大学等において学問をしっかりと修めることが、社会や企業等にとっても有意義であり、企業等が学生に対する採用活動について共通認識を持つことが重要であると考えている。このため、学生が安心して学業に専念できるよう、学修環境の確保を前提とした採用選考活動を実施いただきたく、以下の点を要請する。

## (1) 就職・採用選考活動開始時期の遵守

大学等の学事暦に十分配慮し、以下の就職・採用選考活動日程を遵守すること。

- ・ 広報活動開始 : 卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降
- ・ 採用選考活動開始 : 卒業・修了年度の6月1日以降
- ・ 正式な内定日 : 卒業・修了年度の10月1日以降

学生の採用選考に当たり、求人広告会社やその他就職支援サービス会社を利用する際も、本要請を遵守したサービスであることを確認した上で利用すること。

また、採用選考活動開始前の早期の段階で採用の内々定を出すことや、「早期選考」等と称して採用選考活動開始前に採用選考活動を実施することは学生の学修環境に強い影響を及ぼすこととなるので、実施しないこと。

なお、海外留学する学生もいることから、上記日程後長期にわたって積極的に広報活動及び採用選考活動を実施するとともに、卒業・修了した学生に対しても同様の活動を行うこと。

## (2) 学生の学業等への配慮

企業等が学期期間中に採用選考活動を実施する場合には、当該活動が学業の妨げとならないよう、以下の点に配慮すること。

- ① 授業、試験、留学、教育実習等と採用選考活動が重複しないかあらかじめ学生に確認し、必要に応じて個別的な採用選考日時の変更など必要な対応を明示的に行うこと。また、土日祝日や平日の夕方を活用するほかインターネットなどの多様な通信手段も取り入れるなど、学生の学修環境を損なうことのないよう極力柔軟に対応すること。
- ② 大学等の所在地や学生の居住地が遠方である場合などには、多様な通信手段を活用して採用選考活動を行うなど、採用選考において不利とならないよう配慮すること。
- ③ 多様な通信手段を活用した採用選考活動を行う際には、学生の通信環境を考慮した対応として、通信環境が整わない学生が不利益を被らないよう配慮し、音声・映像が途切れた場合の対応をあらかじめ明示すること。また、学生が準備する時間を確保するため、通信手法について余裕をもって連絡すること。

※詳細につきましては、下記URLまたはQRコードよりご確認ください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/gakuseishien/1422040\\_00004.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/gakuseishien/1422040_00004.htm)



「2024年度、2025年度大学、短期大学、高等専門学校卒業・修了予定者に係るインターンシップを活用した就職・採用活動日程ルールの見直しについて」は、下記URLまたはQRコードよりご確認ください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/gakuseishien/1410984\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/gakuseishien/1410984_00001.htm)



## 求人情報等について

本学では、求人情報配信サービス【キャリアタスUC】にて、学生への求人情報等の公開を行っております。求人情報・インターンシップ募集につきましては、こちらよりお寄せいただきたく、お願い申し上げます。

【キャリアタスUC】下記URLからお申込みください。

<https://uc.career-tasu.jp/corp/>

キャリアタス UC の操作方法についてのお問い合わせ

【株式会社ディスコ キャリタス UC カスタマーサポート】

☎ 0120-551-652 (フリーダイヤル) E-mail [uc-corp@disc.co.jp](mailto:uc-corp@disc.co.jp)

※フリーダイヤルがご使用になれない場合は、電話 03-6635-6488 まで。

<受付時間> 平日 9:00 ~ 17:30

# 学術院・研究群(大学院課程)

大学院には修士課程、博士課程及び専門職学位課程を設置しています。

## 新組織(2020年4月～)

### 人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学、人文学、社会科学に関する多面的かつ高度な教育研究を通じて、人間の価値や人と社会のあり方を時間軸、空間軸を交差させて総合的に探究することによって、新たな知を創造し具現化できる研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

#### 人文社会科学研究群

学位プログラム▶人文学、国際公共政策、国際日本研究

#### ビジネス科学研究群

学位プログラム▶法学、経営学

#### 法曹専攻

#### 国際経営プロフェッショナル専攻

### 理工情報生命学術院

総合科学技術を支える理学・工学・農学の基礎と応用、システム・情報・社会が融合・複合する学際新領域において、人間を取り巻く複雑で困難な問題を発見・解決できる独創的かつ行動的な研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

#### 数理工物質科学研究群

学位プログラム▶数学、物理学、化学、応用理工学、国際マテリアルズイノベーション

#### システム情報工学研究群

学位プログラム▶社会工学、サービス工学、リスク・レジリエンス工学、情報理工、知能機能システム、構造エネルギー工学、エンパワーメント情報学、ライフイノベーション(生物情報)

#### 生命地球科学研究群

学位プログラム▶生物学、生物資源科学、農学、生命農学、生命産業科学、地球科学、環境科学、環境学、山岳科学、ライフイノベーション(食料革新、環境制御、生体分子材料)

#### 国際連携持続環境科学専攻

### 人間総合科学学術院

人間の心身及び諸活動に関する基礎から応用までの豊富かつ高度な教育研究を通して、固有の学問領域において高度でグローバルな視点に基づいた研究を計画実行でき、人間に関する幅広い知識をもち優れた学際的な学術研究や国際的かつ学際的な教育研究環境を背景に異分野の先端的な融合が図れる優れた学術研究を計画実行できる研究者と大学教員、及び複合的な視点から人間を捉え、柔軟かつ適切な援助・支援を研究・設計して社会的ニーズに対応できる高度専門職業人を養成します。

#### 人間総合科学研究群

学位プログラム▶教育学、心理学、障害科学、カウンセリング、カウンセリング科学、リハビリテーション科学、フロンティア医科学、公衆衛生学、ヒューマン・ケア科学、パブリックヘルス、ニューロサイエンス、スポーツ医学、看護科学、体育学、体育科学、スポーツ・オリンピック学、コーチング学、スポーツウエルネス学、芸術学、デザイン学、世界遺産学、情報学、ライフイノベーション(病態機構、創薬開発)、医学、ヒューマンバイオロジー

#### スポーツ国際開発学共同専攻

#### 大学体育スポーツ高度化共同専攻

#### 国際連携食料健康科学専攻

### グローバル教育院

#### グローバル教育院

学位プログラム▶ヒューマニクス

## 旧組織(研究科・専攻に学生が在学する間は新組織と併存)

■教育研究科 専攻▶スクールリーダーシップ開発、教科教育、教育学(国際教育)修士プログラム

■人文社会科学研究科 専攻▶哲学・思想、歴史・人類学、文芸・言語、現代語・現代文化、国際公共政策、国際地域研究、国際日本研究

■ビジネス科学研究科 専攻▶経営システム科学、企業法学、企業科学、法曹、国際経営プロフェッショナル

■数理工物質科学研究科 専攻▶数学、物理学、化学、電子・物理工学、物性・分子工学、ナノサイエンス・ナノテクノロジー、物質・材料工学

■システム情報工学研究科 専攻▶社会工学、リスク工学、コンピュータサイエンス、知能機能システム、構造エネルギー工学

■生命環境科学研究科 専攻▶環境バイオマス共生学、地球科学、生物科学、生物資源科学、環境科学、地球環境科学、地球進化科学、国際地縁技術開発科学、生物圏資源科学、生物機能科学、生命産業科学、持続環境学、先端農業技術科学、国際連携持続環境科学、山岳科学学位プログラム

■人間総合科学研究科 専攻▶フロンティア医科学、教育学、心理、世界遺産、障害科学、体育学、感性認知脳科学、看護科学、芸術、教育基礎学、学校教育学、心理学、体育科学、世界文化遺産学、ヒューマン・ケア科学、スポーツ医学、コーチング学、生命システム医学、疾患制御医学、国際連携食料健康科学、スポーツ健康システム・マネジメント、スポーツウエルネス学位プログラム、生涯発達、生涯発達科学、大学体育スポーツ高度化共同<sup>☆</sup>、スポーツ国際開発学共同<sup>☆</sup>

■図書館情報メディア研究科 専攻▶図書館情報メディア

■グローバル教育院 プログラム▶ヒューマンバイオロジー学位プログラム、エンパワーメント情報学プログラム、ライフイノベーション学位プログラム、ヒューマニクス学位プログラム、地球規模課題学学位プログラム(学士)

☆各拠点(筑波大学・鹿屋体育大学・日本スポーツ振興センター)ごとに遠隔講義システムによる専攻を示す。  
※大学体育スポーツ高度化共同専攻については、日本スポーツ振興センターを除く。

# 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局へのアクセス

## 1 つくばエクスプレスより

秋葉原～つくば間(快速45分)  
 →「つくば駅」から路線バス「つくばセンター」6番乗り場  
 →「筑波大学循環 右廻り・大学中央行」(約15分)→「**第一エリア前**」下車、徒歩5分  
 →「筑波大学循環 左廻り」(約20分)→「**大学公園**」下車、徒歩5分

## 2 JR常磐線より

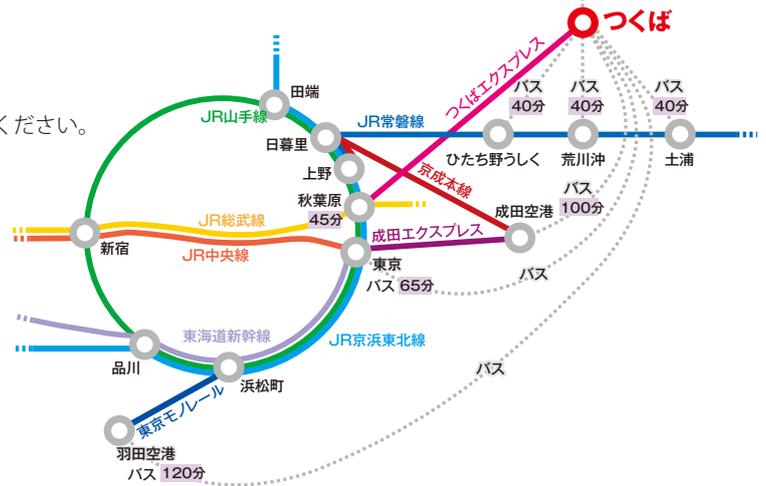
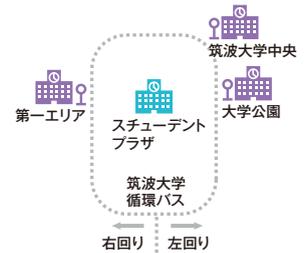
ひたち野うしく 駅東口・土浦駅西口・荒川沖駅西口から路線バス「筑波大学中央行」(約40分) →「**第一エリア前**」下車、徒歩5分

## 3 東京駅より

東京駅八重洲南口から高速バス「筑波大学行」(約65分)  
 →「**大学会館**」下車、徒歩10分  
 ※つくばセンターにて下車される場合は、**1**をご参照ください。

## 4 お車でお越しの場合

「中央口案内センター」または「松見口案内センター」へお越しください。  
 入構受付後、駐車証を発行します。  
 (受付時間 8:30～17:00)



### 〇お問い合わせ〇

ヒューマンエンパワーメント推進局へのお問い合わせは、メールまたはお電話で受け付けております。

ご訪問いただく際は、お手数ですが事前にご確認の上、筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局(第一エリア D棟 スチューデントプラザ2階)までお越しください。

受付時間 平日8:30～17:15(昼休み12:15～13:15)

企業・団体担当窓口 ☎029-853-6091

教員・公務員担当窓口 ☎029-853-6418

代表メールアドレス ✉bhe-syushoku@un.tsukuba.ac.jp

<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>

